



●大阪教育大学リポジトリ公開準備

サーバ設置

2007年 2月
DSpace サーバ導入

体制の変更 2007年4月

ワーキングから係専任に

データの試行入力

NII からメタデータ・PDFファイルをもらいサーバ導入業者に入力依頼

それをお手本にカレントの紀要論文を入力

どうやって登録するか？

メタデータは何をいれるか？

●大阪教育大学リポジトリを知ってもらう

広報

ポスター ちらし

学内グループウェア

メールマガジン（情報処理センター）

講座単位の説明会実施

9講座で実施 参加者 107名

全教員の3人に1人が参加

図書館運営委員の先生を通じて説明会実施を依頼

10分ほどのプレゼンテーションと質疑応答。

質問のいろいろ。。。
著者最終稿とは何か？
共著者の許諾は必要か？
卒論は掲載できるか？
図書は掲載できるか？
科研報告書は？ ……など

●登録コンテンツを増やす

リポジトリ未掲載の紀要論文登録計画

過去9年分の紀要論文データ作成を業者に依頼

手探り状態での計画

透明テキストは？

画像の解像度は？

メタデータは一括登録できる形式で作成

メタデータの形式が確定

自分たちのスキルに自信を持つ

論文リストの作成

「どういったものが掲載できるのかわからない」という声 そこで。。

学内研究者DBに掲載されている論文リスト（**教員自らが入力したもの**）のうち
著作権ポリシーが、公開不可でないものをリストとして説明会に配布

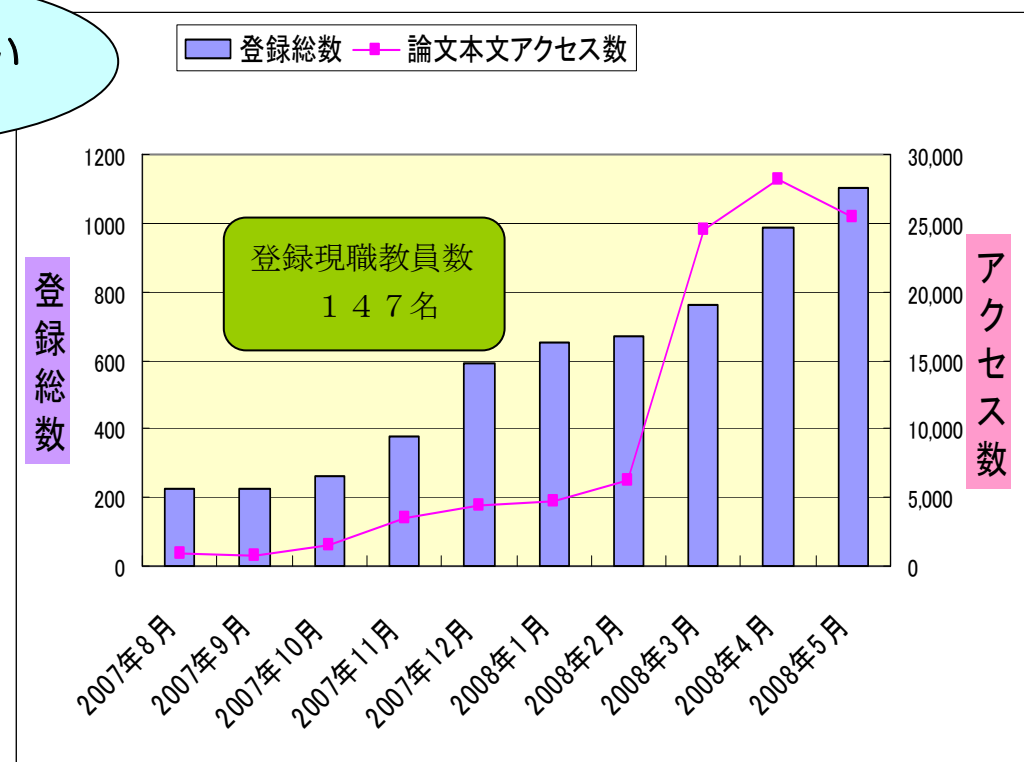
教員にとって自信のある論文を収集する

リストに許諾をいただいた方 13名
自主的にコンテンツ提供いただいた方 21名

●リポジトリをもっと便利に！

JuNii+ハーベスティング開始（2月）

公開度を高めたい



学内研究者DBとの連携計画に着手

学内プロジェクト（事務局情報化戦略プロジェクト）

大学内のDBを見直すワーキングに参加

研究者情報とコンテンツとのリンクにより、研究の広がりや深まりを期待！

教育系サブジェクトリポジトリ（東京学芸大学主催事業）参加

教育の切り口から積極的な情報発信を

2008年5月末日現在
本文登録数

1102件



●コンテンツの拡大と充実

- ・ 本学紀要をはじめ、その他の学内刊行物・科研報告書・GP事業で刊行物や作成物・報告書などを収集
- ・ 本学所蔵『教授用掛図』のデジタル画像の掲載
- ・ 『学内デジタル教材収集プロジェクト』との連携

あらゆる学内刊行物・生産物を
発生源でつかまえる
事務組織との連携を準備中

学内で作成された教材や教材作成用プログラムを収集・公開
リポジトリと連携させて公開することで新たな情報発信の場

近日公開予定



●他DBとの連携

- ・ 学内研究者DBとのリンク
- ・ OPACからのリンク

まもなく実現

教科書・博物資料・
大学史資料関係の掲載

●将来的には

- ・ 学内で生産された成果物が、網羅的・自動的に集まるしくみを作りたい
- ・ 今まで日の目を見なかった学内資料を見だし、積極的に公開したい

* * * * *

教員にとって・・・研究成果の場であり、自分の研究成果の利用度がわかる

学生・大学院生にとって・・・いつでも、どこでも情報を得ることができる

大学にとって・・・特色をアピールする場となる

社会にとって・・・大学が何をしているか、どんなところかわかる

図書館にとって・・・大学の中で重要な位置を占めることを知らせる

画面の作り込み
見やすく、わかりやすい画面

**リポジトリを見れば大阪教育大学が
わかる！**
と言われるような。。